

ホットゾーン内の防護レベルの選択例

事案No.	発生場所	通報内容	出勤時の原因物質の推定	現場周辺の状況	暴露者の症状等	検知活動		初動時のホットゾーン 防護レベル	防護レベルの判断について
						検知場所	検知結果		
1	一般住宅	誤って洗剤を混ぜ合わせてしまい、気分不良を訴えている。	塩素	異変なし	嘔気、呼吸苦など	キッチン	IMS検知器 産業毒性物質（TIC） マルチガス測定器 塩素5ppm	レベルB	通報内容及び発生場所から推測し、高濃度の毒性ガスや化学剤が存在する可能性が極めて低いため、「レベルB」を選択
2	共同住宅	浴室に「有毒ガス発生中」の張り紙があり、応答がない。	硫化水素 又は 塩素	異変なし	意識なし	浴室	IMS検知器 産業毒性物質（TIC） マルチガス測定器 硫化水素100ppm以上	レベルA 【タイプ1 b型以上】 (救助活動に限定等、条件付でレベルB可)	自損を図っていると強く疑われ、致死性の高いガスが高濃度で発生している可能性が高い一方で、要救助者がいる可能性が高く、救出に要する時間も短いと考えられるため、レベルA積載隊が到着するまでの一時的な救助活動に限って「レベルB」を選択
3	宿泊施設	レストランで異臭があり、原因は分からない。	不明	異変なし	症状なし	レストラン内	IMS検知器 神経剤 マルチガス測定器 数値変化なし	レベルB	症状を訴える者がなく、不審物等に関する明確な情報もないため、初動で「レベルB」を選択。IMS検知器の結果は、偽陽性が強く疑われるため、レベルAへの変更は不要と判断。
4	商業施設	ショッピングモールの通路において、催涙スプレーのようなものをかけられて、複数の方が目の痛み等を訴えている。犯人はすぐに立ち去った。	催涙剤？	異変なし	眼痛、喉の痛み、 流涙、気分不良など	ショッピングモールの通路周辺 (発災場所周辺)	IMS検知器 反応なし マルチガス測定器 数値変化なし	レベルB	通報内容等から、スプレーをかけられた者以外に症状を訴える者がおらず、被害拡大の傾向がないことから、「レベルB」を選択
5	医療機関	待合室に不審な液体が置かれている。	不明	異変なし	症状なし	待合室周辺	IMS検知器 反応なし マルチガス測定器 数値変化なし	レベルB 又は レベルC	原因物質は不明であるが、症状を訴える者はいないため、揮発性のある有毒ガス等の可能性は低いと考えられることから、「レベルB又はレベルC」を選択
6	公共施設	市役所の2階で窓を開けていたところ、多数の職員が頭痛、嘔気等の気分不良を訴えている。	不明	2階の陸屋根部分で改修 工事作業中	嘔気、頭痛など	事務所内	IMS検知器 神経剤 マルチガス測定器 一酸化炭素200ppm	レベルA 【【タイプ1 b型以上】 (救助活動に限定等、条件付でレベルB可)	原因物質は不明であるが、傷者が多数いる一方で、重度の症状を訴える者がいないため、レベルA積載隊が到着するまでの一時的な救助活動に限って「レベルB」を選択
7	工場	工場の配管から塩素ガスが噴出して、複数の従業員が気分不良等を訴えている。	塩素	工場の外で塩素のような臭気あり	嘔気、呼吸苦など	作業場	IMS検知器 産業毒性物質（TIC） マルチガス測定器 塩素30ppm	レベルA 【タイプ1 a型】	圧力のかかった塩素ガスが噴出しており、暴露危険の高い環境での活動となるため、「レベル【1 a型】」を選択
8	交通機関（駅）	地下鉄のホームで数名が液体をかけられた。周囲の者も多数症状を訴えている。	不明	駅の外に症状を訴える者が複数いる	縮瞳、流涎、呼吸苦など	駅のホーム	IMS検知器 神経剤 マルチガス測定器 数値変化なし	レベルA 【【タイプ1 b型以上】 (救助活動に限定等、条件付でレベルB可)	神経剤を疑う症状を訴える傷者が多数発生している一方、高い圧力で原因物質が噴出したりしている状況ではないことから、レベルA積載隊が到着するまでの一時的な救助活動に限って「レベルB」を選択
9	屋外（公園）	ドローンから液体のようなものが散布され、多数の方が目の痛み、呼吸苦等を訴えている。	不明	症状を訴える者が複数いる	縮瞳、流涎、呼吸苦など	公園敷地内	IMS検知器 反応なし マルチガス測定器 数値変化なし	レベルB	神経剤を疑う症状を訴える傷者が多数発生している一方、高い圧力で原因物質が噴出している状況ではないこと、屋外であり高濃度で存在する可能性が極めて低いことから、「レベルB」を選択
10	事業所	ガス臭くて、従業員が気分不良を訴えている。ガス漏れかは分からない。	プロパンガス？	異変なし	頭痛、嘔気	屋内	IMS検知器 反応なし マルチガス測定器 可燃性ガス20%LEL	レベルB+防火衣 又は 防火衣+空気呼吸器	「ガス臭」というキーワードからプロパンガス等の漏えいのみが考えられるが、化学物質の存否が不明であるため、「レベルB+防火衣又は防火衣+空気呼吸器」を選択

※あくまで例示であり、活動環境や原因物質、暴露者の症状、検知結果等を踏まえたうえで、防護レベルを選択することが必要である。

※初動時に選択した防護レベルでは、二次災害（二次汚染）等の危険があると判断された場合は、速やかに上位の防護レベルに変更する。